

VIVIDな
IDENTITY
VIVIDな
AMENITY

男女がともに参画できる社会の実現を目指して

第42号

2020.2

シリーズ 13 今、輝く人

行田の文化を支える人 ～ 音楽・将棋・読み聞かせ～



目次

- ・今、輝く人「矢澤知嘉子さん」……………1
 「森健一さん」……………2
 「矢野勝一さん」……………3
- ・女性活躍推進事業の実施、今後の事業予定 ……4
- ・事業報告 ……………4～5
- ・ぎょうだ男女共同参画フォーラム2019 ……6
- ・パープルライトアップ・編集後記 ……………6

音楽があふれる 行田の街へ



音楽家
矢澤 知嘉子さん

行田市で音楽活動

行田市民のために発足された行田アンサンブル協会に所属して15年になります。

この協会で活動を始めたきっかけは、ウィーンに留学中と同じ恩師に学んだ方の勧めでした。

東京都に在住にもかかわらず行田市の方々が温かく迎えてくださり、協会の会長として年に30回程市内で演奏会を開催しています。



音楽との出会い

ピアノ教師の母のもと3歳からピアノを。子どもの頃は一人っ子であったため、ピアノの練習よりも

友だちとの遊びが優先でした。でも家に帰るといつも音楽が流れていて、自然と音楽の道へ進みたいという気持ち芽生え、声楽家の道へ。

大学院生の時、「音楽を続けて欲しい。」と云ってくれた人と結婚。「子どもとの時間を大切に」を合言葉に、日々大変ですが「母・妻・音楽家」の3役をこなしている。



これからも…

毎日が本番です。「幹だけは真っ直ぐに」を意識しています。

音楽は人に夢を与えてくれます。これからも行田の街に

「生の音楽」をお届けするお手伝いが出来たらと思っています。



長年の
キャリアを生かして



★将来を担う
子どもたちのために。



将棋指導者
森 健一さん

将棋に魅せられて70年

☆将棋との出会い

昭和20年代、中学生の頃、近所のおじさんたちが楽しそうに将棋を指しているのを見て、「おもしろそうだなあ」と思ったのが将棋との出会いです。

社会人になってからは毎週土・日曜日は東京の道場でプロの方の指導を受けました。将棋の本も買い、基本をしつかり学びました。

どんどん将棋にのめり込んでいき、埼玉県や全国大会で優勝をするまでになっていきました。

考えて考えて一手を

☆20の駒は選手

将棋は考えて考えて一手を指します。相手が指すであろう駒を頭の中で想像して指し手を決定します。自分は監督として、20の選手をどう働かせるか、思索にふけります。「手順前後」を間違えると局面の方向が全く違ってしまふのです。常に次に繋がる手を考えています。

人生も同じです。相手のことを考え、次に何をしたらよいか、考えて行動することが大切です。



20の駒は選手

森 憲法を

- 負けたとき、相手を称える心
- 感謝を忘れない心
- 棋道を守る心

将棋は先を読むおもしろさがあります。奥が深く努力すれば強くなり勝てます。しかし、負けたときは悔しい気持ちになります。

そこで、「負けました」と言葉が発し、笑顔で「どうぞ次の試合をがんばって下さい」と相手を称えることが大事です。

子どもたちにはまず「ありがとう」を言うことから指導します。また、保護者の方にも子どもたちの取り組む姿を見てもらいます。先生・子ども・保護者が一つになると伸びるからです。

練習や試合には人より早く行き準備をしま



一人一人に

す。勝っても負けてもさわやかな悔いの残らない気分になります。

子どもたちへ

☆達成した喜び

苦しいことや悔しい思いをいっぱいして乗り越えて欲しい。達成した喜びを感じて欲しい。それまでの努力が実った感動のうれし涙を経験して欲しい。

*将棋大会の参加を迷っている子に「先生がついてくるからだいじょうぶだよ。」と優しい言葉をかけている姿が印象的でした。



みんなて次の一手を



★退職後の
新しい生きがい。

読み聞かせは
笑顔の配達人



読み聞かせボランティア
矢野勝一さん



自分の声質を 生かして選んで

矢野さんは大切にしている絵本「かみなりむすめ」を読んでいます。

「雲の上にいるかみなりむすめは、村の子どもたちと遊びたくて親に内緒で下界に降りました」

少し低めの優しい声とせつせつせーの軽やかな声は、伝えたい思いと温かい心が聞く人に伝わってきます。

読み聞かせの会「おはなし

タンバリン」と「おはなしポ

ケット」で

活躍して

いる矢野

勝一さん。



お気に入りの一冊

始めたのは 女房のおかげ

☆人に恵まれて

退職後、「お父さんは本が好きだから」と、女房の勧めで2007年に太井公民館のおはなしタンバリンの会に入りました。男性のいない女性だけの会でしたが、皆さん快く受け入れてくれました。

おはなし会の見習いから始まり、図書館や小学校で読み聞かせをしています。

良い仲間にも恵まれ居心地がいいので10年以上も続いています。その間、タンバリン・ポケットは行田市から表彰されました。

毎月例会で担当を決めま

す。聞き手を考え、自分の声質と好みで本を見つけてます。

子ども向けだけでなく高齢者の集まる『いきいきサロン』

にも読み聞

かせに行っ

てます。

楽しみな

がら活動し

ています。



紙芝居

うれしい再会

小学校の読み聞かせに行ったときのこと。

「おじさん、前も読んでくれたよね。」と声をかけられました。

その子は、幼児のときに、図書館での読み聞かせにきていた子でした。成長した子どもの姿を見ることができ、

とてもう

れしかつ

たです。

おはなし

会を続け

てきて良

かったと



小学校での読み聞かせ

思った瞬間でした。

笑顔は私の宝もの

☆気を抜かず、気負いなく

ボランティアだから、子ども

も相手だからといって気を

抜きません。でも気負いませ

ん。

子どもの見本になれるよ

うに、礼儀・言葉遣いにも気

をつけています。

子どもの反応を見ながら

の読み聞かせは、想像力を育

み、感性豊かな優しい子を育

てると思います。

なにより子どもの笑顔は

私の宝ものです。



おはなし会も
続けていきます



女性活躍推進事業を実施しています

◎行田市女性活躍推進ネットワーク会議の開催

女性の活躍を推進する施策について、事業者、学識経験者、行政機関その他関係団体が連携して合理的かつ効果的に実施するため、ネットワーク会議を開催します。

○第2回ネットワーク会議を11月21日(木)に開催しました。

会議の内容

- ・女性活躍推進事業セミナーのアンケート結果報告について
- ・令和2年度女性活躍推進事業の事業案について

○第3回ネットワーク会議を令和2年2月に開催を予定しています。



今後の事業予定

男の料理塾

毎年、大盛況の男性料理講座を今年度も開催します。詳細については、市報ぎょうだ2月号やホームページ等でお知らせします。是非、御参加ください。



事業報告

あらゆる分野における女性の登用・活躍を推進し、継続して働きやすい環境づくりの支援や、性別にとらわれずに自分の意思で社会のいろいろな活動に参加し、男女平等意識の醸成を図るためのセミナーを開催しました。

「めざせ再就職！子育てママのためのパソコン講座 ～子どもとともに 自分さがし 仕事さがし～」

9/10～19【全4回】

中央公民館パソコン研修室において、リンク学院学院長の澁澤高雄さんを講師に迎え、再就職を目指す子育て中の女性10名が参加されました。

WordとExcelの基礎や表作成と表計算方法を学び、履歴書や職務経歴書の作成方法やコツ、面接の心得などの指導も行われました。



参加者の声 *パソコンの基本的な操作の他に面接対策の話など、とても興味深かったです。

*内容が具体的で、これからの就活の自信に繋がりました。もっと教えて頂きたかったです。

*履歴書やジョブカードの書き方、面接の対応など実践ですぐに役立つ講義でした。

災害時！避難所では何が起きる！？ ～カードゲームで楽しみながら考えよう～

9/14

在学中から被災地支援をされている一般社団法人防災教育普及協会の宮崎賢哉さんを講師に迎え、避難所運営ゲーム(HUG)を小学生以上の方を対象に開催しました。26名が6班に分かれて、各小中学校の図面を基に避難所運営を疑似体験しました。



参加者の声 *それぞれの年代が集まって出来たことが良かったです。自分がやらなくてはならないこと、出来ることについて考えることができました。

*自分のことが出来ない不自由さ！大勢の中でどう動いたらよいか考える機会になりました。

*自分自身が考えるということが、自分のこととして大切だと改めて意識しました。

子育てしながら自分らしい働き方を探そう

9/25

埼玉県・ハローワーク行田・行田市・加須市・羽生市の共催で、ハローワーク行田を会場に再就職を希望する女性21名が参加しました。子育てしながら働くことについてグループで話し合い、それぞれの環境や状況を踏まえて解決策を考えました。



- 参加者の声**
- *いろいろな環境の方と話すことができ、これからのことを考える材料にもなりました。
 - *グループワークだったので、参加者の話を聞くことができ、参考になって良かった。
 - *自分にとって役立つ内容で、質問など気軽に聞いて良かったです。

女優に学ぶ!「伝える魅力」

～緊張や不安に負けない!惹きつける表現力～

11/30

女優として高い評価される表現力・存在力を活かした異色の講師、株式会社CubeRootsの緒方美穂さんを迎え、どんな職業でもどんな場面でも使える「表現力」を鍛えるための意識のポイントやトレーニング法を学びました。大変多くのお問い合わせにより、定員30名のところ42名で開催しました。



- 参加者の声**
- *聴くだけではなく、実践的な授業だったので、魅了されつつ為になるセミナーでした。
 - *人にどう見られているか?ではなく、人にどう見せるか!が大事なので実践していこうと思います。
 - *大勢の前で話す時には、一人ひとりに体を向けて、相手に分かりやすく表情豊かに伝えていきたいと思っています。

人生100年時代の片づけ術!物とお金と心の整理

～より充実した人生を送るために～

12/15

多くのメディアで活躍している一般社団法人実家片づけ整理協会理事長の渡部亜矢さんを講師に迎え、生前整理と遺品整理で困らない、実践しやすい片づけ術や資産を守る方法をお伝えいただきました。こちらも大変多くのお問い合わせにより、定員30名のところ49名で開催しました。



- 参加者の声**
- *処分費用の方が高つく時代だということ意識し、早めに周囲をすっきり片付けておくように心づけたいと思いました。
 - *自分の親の所有物の整理に大変苦労したので、自分は子どもに負担をかけたくないと思いました。
 - *時間がなく少しずつ片付けていますかなかなか進まないの、まずは捨てる物から頑張っていこうと思います。

暮らしのプロから学ぶ!苔玉作りと新年のおもてなし

12/28

今年度は苔玉講師であり、ソプラノ歌手でもある諏訪桃子さんと翼ビジョン代表でインテリアコーディネーターの堀内由紀さんを講師に迎え、29名が苔玉と水引き作りを楽しみました。また、出来た作品を用いて簡単で効果的な飾り方のコツやおもてなしのアイデアを学びました。講義後は、お茶を飲みながらソプラノ演奏をお楽しみいただき、ゆとりを感じながら優雅な楽しいひとときを過ごしました。



- 参加者の声**
- *初めて苔玉・水引きを作りましたが、とても楽しくできました。先生のソプラノ演奏に感激しました。
 - *生の歌声を間近に聞き感動!!苔玉も玄關に飾り、清々しい新年を迎えられそうです。
 - *とっても楽しかったです。講義中はジャズが流れ、苔玉とジャズ、とても素敵な時間でした。



「ぎょうだ男女共同参画フォーラム2019」

オープニング セレモニー

響き渡り、この季節ならではのクリスマスソングも披露され、とても華やかで楽しい雰囲気になりました。

行田アンサンブル協会

バイオリンとピアノの調べに会場は酔いしれました。美しい音色がホールに



事業所表彰

株式会社コスメグローバル

女性が活躍できる環境整備を積極的に進め、さらに管理職などにも女性を登用するなど、「女性労働者の能力発揮を促進し、その活用を図る積極的な取り組みを推進している事業所」として評価されました。



講演会

佐久間 レイさん

苦しいこと、悲しいこと、辛いことなどに直面したとき、身体と同じように心も温めて柔らかくすることで「折れることなく自分らしく生きる」ためのヒントについて、ご自身の体験を交えてお伝えいただきました。

アンパンマンマーチをバラード調にアレンジした歌や巧みな語り口で涙を誘う朗読劇が披露され、最後の手遊びでは会場が一体となって盛り上がり、大きな拍手が沸き起こりました。

【代表作】

「それいけ！アンパンマン」のバタコ、「らんま1/2」シャンプー
「魔女の宅急便」のジジ、「おねがいマイメロディ」のマイメロディ
「楽しいムーミン一家」のミイ、「教育テレビ」高木ハツ江 など



- JR高崎線行田駅下車 市内循環バス(観光拠点コース左回り)教育文化センター前下車
- JR高崎線吹上駅下車 朝日バス佐間経由行田折返し場行き佐間回地下車徒歩3分

令和2年2月発行
発行/行田市
編集/行田市男女共同参画推進センター
VIVAぎょうだ
〒361-0032 行田市佐間3丁目23番6号
【TEL】048-556-9301
【FAX】048-556-9310
【ホームページ】
<http://www.city.gyoda.lg.jp/viva/>
【メールアドレス】
viva@city.gyoda.lg.jp

忍城を紫色にライトアップ (11月12日~11月25日)

女性に対する暴力根絶運動のシンボルであるパープルリボンにちなみ、忍城を紫色にライトアップしました。

この取り組みは、「女性に対する暴力をなくす運動」の一環として行われており、今年で4回目です。

詳細については、内閣府男女共同参画局および埼玉県男女共同参画課のホームページをご覧ください。



美 した。 安原初

行田のため、子どもたちのために生き生きと活動される三人の方々に圧倒され、エネルギーをいただきました。

地域の生活に潤いを与えてくれているこれらの活動が、強く根を張り広がっていることを実感しました。

森田利恵

記事の内容が決まらずに苦戦していた時、お話を伺える機会をいただけたことができました。いつもながら取材に応じてくださった方々に感謝します。

小堺久美子

行田市には、まだまだ自分の人生を子ども達の情操教育に尽力してくださる方が沢山いる事に感謝です。

山崎孝子

編集後記

